

NOTICIAS DE S. PAULO

(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)

(1) No. 1.885

M. Koba
小林 美登利
5a Feira, 13. Bueno, 1939



江東地區完全制壓

敵軍總くずれて四散

(安北城十二日) 我快足(○)に於て江東地區の要衝安北(奉は新編第五路)に在つた敵安家程(及び遊擊隊約一千の東亞大建設の目的を貫徹するは一に我々一億同胞の双方にかかる大なる義務である。抑々

首相の講演要旨左の如し

軍事に因りて脆くも潰滅(天西方八十村)に戦果を收めつあるがこの戦果を全うして勝利の大業を成らんとするものである。更に荒木文相から國民のゆくべき道を説き築地理事長、畠俊六大將も熱情を發揮、午後三時すぎ大盛況裡に閉會した。



滅死奉公以て國に報ひむ

老軀ひつさげて首相の熱意

東亞の安全部を確立して世界平和に貢献すると共に國

際正義を確立して人類の福祉を増進するは帝國不動の國であり、帝國は今次時局處理の最終目標を

東亞新秩序の建設に當る。これが基礎的要件として

國政府の潰滅、大陸に於ける國力の増強を保証する

充實を期してゐるのである。斯くて國の公正なる事

變處理の方策は一に我が聖國の大精神に源流し八紘

一宇の大理想を實現せんとする他ならぬ天地の行

動に基付き日支間の紛争を根絶し東洋永遠の平和を

確保せん爲である。之を實現するには國民精神の

昂揚とわが國力の充實を圖り東亞各國との連携

となりて帝國に敬服し來るる境地に達しなければなら

ない。いま昭和の御代に生を享けてゐる吾々はこの

時局に際して重大の責務を負ひ同胞心と一緒に國

の誠を盡以て聖恩に仰ぐると共に大陸建設の礎石となつた幾多の英靈を慰めなければならぬと憧ふのである。(實質は平沼首相)

「匪賊なき日」
「ばらうすぐた

滿洲國軍

江東地區完全制壓

</div

英、對獨伊强硬警告か

希士兩國の的獨立保険

進退兩難に悩む英當局

(ロンドン十一日) イタリヤのバルカン進出に對抗せんとする英國政府は、外交方面の緊急開闘を加へてゐるが、政府は十日の午後、外交委員會を召集して、來る十三日引會場頭の議會に發表すべき聲明文案について検討を重ねることとなつた。政府は右聲明において、獨伊兩國に對する英國政府はギリシャ、トルコ兩國に對する獨伊の行動は非攻撃的措置と見做さざるを得ない旨の強硬警告を發すると傳へられるが同時にギリシャ、トルコ兩國に對して

強腰のイタリヤ

さらに大動員を完了

颶風を孕む地・海沿岸

(ロードン十一日) イタリヤのバルカン進出に對抗せんとする英國政府は、外交方面の緊急開闘を加へてゐるが、政府は十日の午後、外交委員會を召集して、來る十三日引會場頭の議會に發表すべき聲明文案について検討を重ねることとなつた。政府は右聲明において、獨伊兩國に對する英國政府はギリシャ、トルコ兩國に對する獨伊の行動は非攻撃的措置と見做さざるを得ない旨の強硬警告を發すると傳へられるが同時にギリシャ、トルコ兩國に對して

強腰のイタリヤ
さらに大動員を完了
颶風を孕む地・海沿岸

好調を續けて

微風號

全航程の半以上を翔破

（東京十二日）カカルカツ巡

新黄河を見ゆる
大黄河を砂ばく宛ら

河床から顔を出す屋根

（開封にて）

